

納入事例

日本テレビ放送網株式会社 様 S1 スタジオ

日本テレビ放送網株式会社様の本社である汐留の日本テレビタワーの中で、最大規模を誇るスタジオが S1 スタジオです。

このたびの設備更新にあたり、CALREC の放送用デジタル・ミキシングコンソール「APOLLO」と「BRIO・36」が納入されました。

2019年7月 運用開始



▲ S1 スタジオの CALREC 「APOLLO」

●大型番組制作を担う音声卓に CALREC の 2 台のコンソールが採用

日本テレビの本社とスタジオ機能が集まる汐留の日本テレビタワーの中で、211坪の最大面積を誇る S1 スタジオに CALREC の放送用デジタル・ミキシングコンソール「APOLLO」と「BRIO・36」が納入されました。S1 スタジオは、広さを生かして大型のセットを組んだ大掛かりな番組の制作を担っており、バラエティや報道・情報番組向けのスタジオとして、生放送にも対応しています。

日本テレビタワーが竣工して 20 年弱。今回のスタジオ設備更新に際し、メイン卓に指名されたのが、CALREC の最上位機種 APOLLO でした。日本テレビ様には中継用として初めてアナログ・コンソールを納入していただいてから今に至るまで CALREC をお使いいただいております。麹町にある番町スタジオの C1 と C2 スタジオ、日本テレビタワーの S2 スタジオにも APOLLO を導入いただきました。今回それに引き続き、S1 スタジオへの納入となり、CALREC への信頼度の高さを感じます。

サブ卓として、CALREC の BRIO・36 が C1、C2 スタジオと同様に、S1 スタジオにも採用されました。BRIO・36 は、専有面積 1m² 以下の筐体に高性能な機能を搭載した、コンパクトなデジタル・ミキシングコンソール。APOLLO と同じネットワークに接続できるという利便性があるうえ、可搬性にも優れています。メイン卓の APOLLO の入力チャンネルが足りないときやサブミックスを作成するときなどに使用されています。

●満足できる機能と音質、そして安定性

今回の更新にあたって、APOLLO をご採用いただいた理由は、「要求する機能や音質が十分に満足できる」ということと、「放送で一番重要である『安定性』に優れている」ということでした。

採用いただいた APOLLO は、64 フェーダーでチャンネル数は 1020。圧倒的な処理能力を持つ DSP を搭載しています。また、CALREC のコンソールは、PSU をはじめ、DSP、コントロールプロセッサ、ルーターモジュール、I/O 拡張モジュール、オーディオリンクケーブル、コントロールリンクケーブルのすべてに、クラス最高水準のオートマチックリダンダントシステムを搭載。音声を途切れさせてはいけない放送用途にふさわしい安全性を備えており、過去の日本テレビ様の運用実績からも信頼をいただいたようです。

● APOLLO の運用

納入後まもなく、国政選挙の速報番組や夏の大型番組を立て続けに放送する機会があったそうです。APOLLO は、GPIO の設定でタリーの連動機能を可能にしたほか、Dante や MADi など拡張性も高く、今まで必要だった機材が不要になったということで、「非常にシンプルかつ安定したシステムで放送を終えることができた」との感想をいただきました。

CALREC のコンソールは独自の Hydra2 ネットワークのほか、Dante や MADi など多種多様なフォーマットの受け渡しが可能なおうえ、AES67 での IP 接続も可能です。ご担当者様からは、「他のスタジオを含めた将来性にも期待できる」との声もいただきました。



▲ システムラック



◀ 日本テレビ放送網株式会社様の本社ビル。

▶ 日本テレビ放送網株式会社

技術統括局 制作技術統括部

〒 105-7444

東京都港区東新橋 1 丁目 6-1

URL : <https://www.ntv.co.jp>

●主要な納入機材

機材	ブランド名	製品名
デジタル・ミキシングコンソール	CALREC	APOLLO
デジタル・ミキシングコンソール	CALREC	BRIO・36
I/O BOX	CALREC	BR-IO、Hydra2 ネットワーク用 I/O-BOX 多数
プログラマブル・デジタル・プロセッサ	BSS AUDIO	BLU-160、BLU-120、BLU-DA
マイクロホン	Shure	SM63
マイクロホンスタンド	TRIAD-ORBIT	T3、O1
スピーカーシステム	JBL PROFESSIONAL	STX-812M、AWC62-BK
パワーアンプ	JBL PROFESSIONAL	CSA-2120
パワーアンプ	CROWN	XTi2002

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3882

HIBINO

hibino Group